

奈良井宿かわらばん

奈良井宿観光案内所 0264(34)3160

今も息づく奈良井宿の「屋号（やごう）」

奈良井の宿場を散策すると、各家の玄関上の木札が目につきます。ここ奈良井宿では、今でも屋号を使う機会が多くあります。

日本における屋号は、江戸の昔、身分制度により武士以外は苗字を名乗ることができなかったため、屋号をつけるようになったといわれています。

屋号の代表は、歌舞伎の世界や現在のデパートをはじめとした商業界にみることができます。歌舞伎では、音羽屋（おとわや）・高麗屋（こうらいや）、デパートでは、高島屋・松坂屋・松屋、商業会では、紀伊国屋・加賀屋など多くの屋号が使われています。

奈良井宿では、越後屋・伊勢屋・松坂屋・油屋・門屋・枡屋（ますや）など、その当時の出身地や職業などによってつけられたものと思われます。

また、屋号のなかった家でも、現在の職業や苗字、分家したことから床屋・髪結屋・丸吉・新伊勢屋など、新しくつくられたものもあり家々の歴史がうかがえます。

屋号を見ながら歩くのも楽しいものです。



・・・お願いします・・・

木曾の大橋と宿場の往来には、JR 線路横断は大変危険ですので、指定の踏み切りと地下道をお通りください。